

# ブース島、 シャルコー泊地

南緯65度04分、西経64度02分

## 主な特徴

- シャルコーが率いる第1回フランス南極探検隊の歴史的遺跡（第28南極史跡記念物）
- アデリーペンギン属3種全てのペンギンの営巣地
- 氷河の景観



## 概要

- 地形** シャルコー泊地は、ブース島の北にある幅2.4 kmの湾であり、ルメール海峡の西側を形成する長さ8 kmのY字型の島である。この湾は、ブース島のY型海岸の北東の腕部分にある。北東の入江部分（Salpêtrière Bay）の南岸から、本地点はゆるやかな坂を上ってシャルコーの探検隊の遺物が見つかった50 mの丘陵まで続いている。北の海岸には丸石が多い小さな湾フランソワ湾があり、2つの小さな沖合の岩の多い小島によって保護され、連続した岩の露出頭が湾を囲んでいる。
- 動物相** 繁殖が確認されている種：アデリーペンギン (*Pygoscelis adeliae*)、ヒゲペンギン (*Pygoscelis antarctica*)、ジェンツーペンギン (*Pygoscelis papua*)、ミナミオオセグロカモメ (*Larus dominicanus*)、ナンキョクアジサシ (*Sterna vittata*)、サヤハチドリ (*Chionis alba*)、スグロムナジロヒメウ (*Phalacrocorax atriceps*)、アシナガウミツバメ (*Oceanites oceanicus*)、ナンキョクオオトウゾクカモメ (*Catharacta maccormicki*) 及びオオトウゾクカモメ類 (*Catharacta* spp.)。ウェッデルアザラシ (*Leptonychotes weddellii*)及びナンキョクオットセイ (*Arctocephalus gazella*)がしばしば上陸し、カニクイアザラシ (*Lobodon carcinophagus*) とヒョウアザラシ (*Hydrurga leptonyx*) が定期的に近辺で見られる。
- 植物** 氷雪藻が夏の終わりに広範囲に現れることがある。記載された生物相：ナンキョクコメススキ (*Deschampsia antarctica*)、多様なコケ類、ナンキョクカワノリ (*Prasiola crispa*) を含む藻類、オオロウソクゴケ種 (*Xanthoria* spp.)、ダイダイゴケ種 (*Caloplaca* spp.)、アナイボゴケ種 (*Verrucaria* spp.) を含む地衣類。
- その他** この箇所は、ジャン・バティスト・シャルコーの指揮の下、1903–1905年のフランス南極探検隊がフランソワ号の船内で越冬した場所である。探検隊の遺物は、木の柱のあるケルン（第28南極史跡記念物に指定されている）、石造の磁気小屋、その他の補給船や人工物の残骸という形でいまだ見ることができる。

## 訪問者の影響

- 既知の影響** なし。
- 潜在的影響** 野生生物のかく乱。歴史的遺物のかく乱。

## 上陸要件

- 船舶\*** 乗客500人以下の船舶\*（ただし、以下の訪問者制限に注意）。一度に1隻の船舶とする。1日あたり（午前0時から翌午前0時まで）、2隻の船舶までで、そのうち乗客200人を超えるのは1隻までである。
- 訪問者** 探検ガイドとリーダーを除き、常に上陸は一度に100名以内。

## 訪問者用地区

- 上陸地区** 第1次上陸地点：Salpêtrière湾。そこからシャルコー泊地まで、鞍部を超えて短時間の徒歩。上陸は、フランソワ湾の丸石の多い小さな湾の中でもできるが、湾は浅く、干潮時は岩だらけとなる。
- 閉鎖地区** Jeanne丘の北側の急峻な岩の多い場所。Jeanne丘の南側は閉鎖されていないが、割れ目が多く危険である。
- ガイド付き徒歩地区** ケルンまでの徒歩は、急峻で滑りやすい斜面を避けるために、ガイドを伴うことが勧められる。
- 自由散策地区** Salpêtrière湾にある第1次上陸地点と北方向に鞍部を超えてシャルコー泊地まで及び東方向へJeanne丘の麓にあるペンギンコロニーとの間の地区は、以下の注意事項を考慮して自由に散策できる。

\* ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。

# ブース島、 シャルコー泊地

南緯65度04分、西経64度02分



## 訪問者の行動規範

### 上陸後の行動

訪問者はゆっくりと注意して歩くこと。野生生物からの距離を5mに保ち、動物に先行権を与える。もし、行動に何らかの変化が見られる場合は、この距離は長くなる。歴史的遺物に触れたり、干渉したり、移動させたりしないこと。  
ペンギンが使う雪深い通り道を歩くことを避けること。

### 注意事項

シャルコー泊地の近くの海域は、あまり調査されていない。歴史的遺物（地図参照）の近くでは注意が必要であり、いくつかは雪で部分的に隠れている。  
永久氷の斜面は、割れ目がたくさんあり、危険である。これらの地域は、適切な登山経験を持ち訓練を受けた人が、適切な道具を使った場合のみ（例えば、ロープによる）出入りするべきである。Salpêtrière湾の上陸地点の東に覆いかぶさる雪の近くは不安定なので、歩く時は注意しなければならない。

